

世界学生環境サミット公式データ

1. サミットにおける意見書採択の為の議論をする学生の国、大学数、人数
 → 第一＋第二全体会の参加人数及び議長、副議長の人数を範囲とします。
 → 当日パンフの記述(11カ国、16大学、55名)はこれを示しているが、55名の人数に関しては引率者(13名)を含み数字も違っているため**学生数 47名**と訂正します。

国の数	11カ国(日本を含む)	カナダ、中国、フランス、ドイツ、インド、イタリア、韓国、ロシア、イギリス、アメリカ、日本
大学数	16大学(日本を含む)	(海外 14 大学)ヴィクトリア大学、ウィニペグ大学、プリティッシュコロンビア工科大学、復旦大学、サヴォワ大学、チュービンゲン大学、ペリヤール大学、フィレンツェ大学、延世大学、サンクトペテルブルク大学、ノヴゴロド大学、ケンブリッジ大学、スタンフォード大学、オベリン大学 +(日本2大学)同志社大学、京都大学
学生数	47名(全体会議長、副議長2名を含む)	海外学生 41名+日本人代表 4名+全体会議長、副議長 2名

2. サミットに参加する学生の国、大学数、人数
 → 第一＋第二＋第三分科会＋全体会の参加人数及び議長、副議長の人数を範囲とします。

国の数	14の国と地域(日本を含む)	上記11の国にオランダ、台湾、ケニアが加わる *台湾を含むので厳密には国と地域という表現となる。
大学数	19大学(日本を含む)	上記14大学に立命館大学、大阪大学、東京大学が加わる *日本人学校は大学としてカウントしない。
学生数	69名(全体会議長、副議長2名を含む)	上記47名+第三分科会 22名

3. サミットに関わったすべての大学と学生数
 → すべての分科会、全体会に我々運営学生や当日スタッフ等までを範囲とします。

大学数	24大学(日本を含む)	上記19大学に神戸大学、関西大学、滋賀県立大学、同志社女子大学、京都精華大学が加わる
学生数	約 200名	上記69名+実行委員会 103名+当日スタッフ、演奏者等

あ4え《参考》上記に基づく数字データ

参加	大学数	国内大学	参加人数	海外学生	日本人学生
第一(分科会議長含む)	9	1	19	17	2
第二(分科会議長含む)	14	2	26	24	2
第三(分科会議長含む)	5	5	22	18	4
第一+第二+第三合計	19	5	67	59	8
サミット運営者だけ	8	8	103		
関わった全ての学生	24	10	約 200		

Q.分科会、全体会について

A1.第一分科会

議長	日本人学生
▽ ケンブリッジ大学 Anna Stephenson アンナ ステファンソン(女) Philine Ermgassen フィリン アームガッセン(女)	▽ 同志社大学 堀田 浩平(工学研究科1年生) 小宮慎太郎(工学研究科1年生)

A2.第二分科会

議長	日本人学生
▽ ヴィクトリア大学 Chantal Orr シャンタル オール(女) Jill Doucette ジル デューセツト(女)	▽ 同志社大学 今井 絢(法学部2年生) ▽ 京都大学 村田 みゆき(大学院地球環境学舎1年次)

A3.第三分科会

議長	日本人学生
▽ 同志社大学 井口 景介 (工学部3年生) 辻内 智之 (工学部3年生)	▽ 東京大学 小平 翼(工学部4年生) 野沢 俊樹(工学部4年生)

A4.全体会

議長	副議長
▽ 同志社大学 松田 雄高(法学部3年生) まつだ ゆたか 1986年5月26日生れ=22歳	▽ 同志社大学 長山 一石(法学部3年生) ながやま かずし

以上